

291st IBB Seminar

ペプチド化学が拓く創薬と 化学ツール開発

講師：林 良雄 教授

東京薬科大学

生命科学部 創薬化学研究室/薬学部 薬品化学教室



日時：2026年1月23日（金）15:00～16:30

会場：東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所
第二会議室 22号館（1階）

Abstract: 現代創薬を支えるペプチド化学の伝統を発展させるべく、(1) 新規ペプチド合成および修飾に資する化学ツールの創製と、(2) ペプチドを起点とした創薬研究に取り組んできた。化学ツールでは、Npys 化学に基づく固相ジスルフィド架橋法を確立し、直近では新規試薬 Npys-OPh(ρ F)を用いたトリプトファンの選択的スルフェニル化も達成した。創薬研究では、3CL プロテアーゼ阻害剤 YH-53 や、全 D アミノ酸からなる高安定マイオスタチン阻害ペプチドを開発し、加えて ADC に有用な抗体 Fc 認識ペプチドも創製してきた。本講演では、これらの成果を紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリーフィールド

亀井（内線 8036）、玉村